

カトリック新潟教区

司教館

〒951-8106 新潟県新潟市中央区東大畑通一番町 656
TEL. 025-222-7457 / FAX. 025-222-7467



DIocese OF NIIGATA

Office of the Bishop

656, Ichibancho, HigashiOhatadori, Chuoku,
Niigatashi, 951-8106 Japan

2022年7月19日

2022年 平和旬間メッセージ

カトリック新潟教区の皆様

「わたしは、平和をあなた方に残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。」(ヨハネによる福音 14章 27節)

日本の教会は、8月6日から15日までの期間を「日本カトリック平和旬間」と定めています。主の変容の祝日であり、広島に原爆が投下された日から、聖母の被昇天、終戦記念日までの10日間、平和のために祈り、考え、話し合い、行動するよう招かれています。

皆様は、今年の平和旬間をどのような心で迎えられるでしょうか。ロシアによるウクライナ侵攻が始まってからすでに5ヶ月が経とうとしています。その間、わたしたちは毎日伝えられる、人間の尊厳が踏みにじられ、被造物が破壊される現実打ちのめされてきました。

恐ろしいことに、「より強力な武器をより大量に持つことが平和を作り、平和を守ること」という理解が、戦争や紛争のまっただ中にある国だけでなく、世界中に浸透していっているように感じます。

教皇フランシスコは、回勅『兄弟の皆さん』の中で、南アフリカの司教協議会の司牧文書を引用し、平和の構築について次のように教えています。

真の和解は、「支配欲よりも他者への奉仕を基盤とする、新たな社会を形成することで」先取的に実現されます。「それぞれが身勝手に最大限の富を求める争奪戦ではなく、もっているものを他者と共有することを基盤とする社会です。家族であれ、国であれ、民族であれ、文化であれ、どんな小集団よりも、人類としてともにいることの価値が、間違いなく大切にされる社会です。」

冒頭の聖書の箇所は、イエスが最後の晩餐で語った言葉です。イエスは、力によってではなく、特に弱い人を大切に、自らのいのちを人々のために使うという、愛の行いによって世界に平和を与えられました。わたしたちも、人に脅威を与えるのではなく、愛に基づく人への奉仕、人ととの共有、人とともにいることを通して、平和を身近なところから広げていきましょう。



カトリック新潟教区

司教